

平成21年3月期 第1四半期決算短信

平成20年8月4日

上場会社名 株式会社ニチダイ
 コード番号 6467 URL <http://www.nichidai.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 古屋 元伸
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 藤本 光洋
 四半期報告書提出予定日 平成20年8月11日

上場取引所 JQ

TEL 0774-62-3481

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第1四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第1四半期	3,149	—	216	—	218	—	134	—
20年3月期第1四半期	3,063	4.0	266	△4.4	249	△1.5	123	△11.0

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第1四半期	14.84	—
20年3月期第1四半期	13.70	13.67

(注)21年3月期第1四半期における潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在していないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
21年3月期第1四半期	12,432	6,616	6,695	53.2	730.94	
20年3月期	11,738	6,637	6,738	56.5	733.33	

(参考) 自己資本 21年3月期第1四半期 6,616百万円 20年3月期 6,637百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	8.00	—	8.00	16.00
21年3月期	—	—	—	—	—
21年3月期(予想)	—	8.00	—	8.00	16.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期連結累計期間	6,300	—	570	—	520	—	270	—	29.83
通期	12,900	2.6	1,210	0.4	1,100	2.4	560	32.6	61.87

(注)連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 有

新規 2社(社名 ニチダイプレジジョン株式会社) 除外 1社(社名 NICHIDAI(THAILAND)LTD.)

(注)詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注)詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第1四半期 9,053,300株 20年3月期 9,053,300株
 ② 期末自己株式数 21年3月期第1四半期 1,555株 20年3月期 1,504株
 ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第1四半期 9,051,745株 20年3月期第1四半期 9,049,267株

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 平成20年5月1日発表の通期連結業績予想は修正しておりません。上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間における国内自動車業界は、原油高の影響から北米市場が販売不振に陥っている一方、新興国向け需要が牽引し、輸出及び海外生産台数は増加基調となっております。

このような状況のなか、ネットシェイプ事業における金型部門では、中部地区の主力ユーザー向けエンジン部品量産金型の増加等により国内向け売上高は好調に推移いたしました。一方、海外向けは、北米地区で景況悪化の影響があり伸び悩んだものの、アジア地区における日系自動車部品メーカーの進出に伴うインド向けの売上高が増加したことから、ほぼ計画どおりの売上高で推移いたしました。精密鍛造品部門もほぼ計画どおりに推移したことから、ネットシェイプ事業の売上高は19億9千4百万円となりました。

アッセンブリ事業におきましては、環境規制EURO5施行に伴うVGターボチャージャー部品の品種切替え時期にあたるため、売上高はほぼ当初計画どおりの8億3千万円となりました。

フィルタ事業におきましては、本年3月に本格稼働したTHAI SINTERED MESH CO., LTD. では、石油掘削用フィルタの生産が順調に推移し計画を上回りましたが、国内市場が減速したことから、ニチダイフィルタ株式会社の売上高が計画未達となり、フィルタ事業の連結売上高は、計画に対してやや未達の3億2千4百万円（前年同期比3.0%増）となりました。

以上の結果、売上高は31億4千9百万円（前年同期比2.8%増）となりました。

損益面におきましては、ネットシェイプ事業が金型売上の増加により収益増となったものの、アッセンブリ事業の売上高減少の影響と、フィルタ事業における国内向け売上高減少に伴う稼働率の低下、材料費高騰の影響があったことから、経常利益は2億1千8百万円（前年同期比12.3%減）、四半期純利益は1億3千4百万円（前年同期比8.3%増）となりました。

なお、当第1四半期連結会計期間より事業区分を変更したため、ネットシェイプ事業及びアッセンブリ事業の前年同期比は表示しておりません。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間の総資産は、前期末に比べ6億9千4百万円増加し、124億3千2百万円となりました。

流動資産におきましては、受取手形及び売掛金が6億9千万円増加し、固定資産におきましては、設備投資・減価償却等により8百万円増加いたしました。

負債におきましては、NICHIDAI (THAILAND) LTD. の工場用地取得、工場建設等により、有利子負債が前期末に比べ7億9千4百万円増加し、40億3千9百万円となりました。

純資産は、当第1四半期純利益1億3千4百万円等により、自己資本比率は53.2%となり、純資産合計は66億9千5百万円となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ7百万円増加し、6億6千5百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は4億4千7百万円となりました。これは、主に税金等調整前四半期純利益2億4千4百万円、減価償却費1億5千1百万円、賞与引当金の増加額1億6千2百万円より売上債権の増加額6億9千9百万円、法人税等の支払額2億5百万円を差し引いた結果によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は2億9千4百万円となりました。これは、主にNICHIDAI (THAILAND) LTD. の工場用地の取得及び国内生産拠点の生産設備の増強など、有形固定資産の取得によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は7億7千1百万円となりました。これは、主に短期借入金の増加額8億5千9百万円によるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成20年5月1日発表の第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想に変更はありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

平成20年4月1日付で当社を分割会社とし、アッセンブリ事業を新設会社とする分社型の新設分割により、ニチダイプレジジョン株式会社を設立いたしました。また、ニチダイプレジジョン株式会社は、平成20年4月2日付で100%出資のNICHIDAI (THAILAND) LTD. を設立したため、ニチダイプレジジョン株式会社とNICHIDAI (THAILAND) LTD. の2社を連結の範囲に含めております。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

- ① 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。
- ② 「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号 平成18年7月5日）を当第1四半期連結会計期間から適用し、評価基準については原価法から原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）に変更しております。これにより、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益は、それぞれ36,339千円減少しております。なお、セグメント情報に与える影響は、当該箇所に記載しております。
- ③ 「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」（実務対応報告第18号 平成18年5月17日）を、当第1四半期連結会計期間から適用しておりますが、連結決算上必要な修正は該当ありませんでした。
- ④ 所有権移転外ファイナンス・リース取引については、従来、賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっておりましたが、「リース取引に関する会計基準」（企業会計基準第13号（平成5年6月17日（企業会計審議会第一部会）、平成19年3月30日改正））及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第16号（平成6年1月18日（日本公認会計士協会 会計制度委員会）、平成19年3月30日改正））が平成20年4月1日以降開始する連結会計年度に係る四半期連結財務諸表から適用することができることになったことに伴い、当第1四半期連結会計期間からこれらの会計基準等を適用し、通常の売買取引に係る会計処理によっております。

なお、当第1四半期連結会計期間では通常の売買取引に係るリース取引はございません。

また、リース取引開始日がリース会計基準適用初年度開始前の所有権移転外ファイナンス・リース取引については、前連結会計年度に引き続き、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を適用しております。

5 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る要約 連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,015,587	1,008,366
受取手形及び売掛金	3,679,767	2,989,266
製品	480,536	491,100
原材料	197,836	154,829
仕掛品	772,080	795,206
その他	154,687	190,174
貸倒引当金	△6,521	△23,190
流動資産合計	6,293,973	5,605,753
固定資産		
有形固定資産	5,835,544	5,817,961
無形固定資産	42,387	43,633
投資その他の資産	245,038	252,561
固定資産合計	6,122,970	6,114,156
繰延資産	15,966	18,456
資産合計	12,432,911	11,738,365
負債の部		
流動負債		
買掛金	667,854	749,762
短期借入金	2,160,429	1,406,939
未払法人税等	89,318	210,093
賞与引当金	296,169	133,390
その他	541,224	537,286
流動負債合計	3,754,996	3,037,471
固定負債		
社債	1,000,000	1,010,000
長期借入金	858,949	808,147
退職給付引当金	8,672	6,933
長期末払金	114,422	137,811
固定負債合計	1,982,044	1,962,892
負債合計	5,737,041	5,000,363

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る要約 連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,429,921	1,429,921
資本剰余金	1,192,857	1,192,857
利益剰余金	4,079,005	4,017,097
自己株式	△994	△971
株主資本合計	6,700,789	6,638,904
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	2,590	8,381
為替換算調整勘定	△87,085	△9,335
評価・換算差額等合計	△84,494	△954
少数株主持分	79,575	100,051
純資産合計	6,695,870	6,738,002
負債純資産合計	12,432,911	11,738,365

(2) 【四半期連結損益計算書】
 【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)
売上高	3,149,435
売上原価	2,466,125
売上総利益	683,310
販売費及び一般管理費	466,586
営業利益	216,724
営業外収益	
為替差益	23,298
その他	4,827
営業外収益合計	28,125
営業外費用	
支払利息	20,033
その他	6,119
営業外費用合計	26,153
経常利益	218,696
特別利益	
投資有価証券売却益	9,726
貸倒引当金戻入額	16,668
特別利益合計	26,395
特別損失	274
税金等調整前四半期純利益	244,817
法人税、住民税及び事業税	82,700
法人税等調整額	31,631
法人税等合計	114,331
少数株主損失(△)	△3,837
四半期純利益	134,322

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

当第1四半期連結累計期間
 (自 平成20年4月1日
 至 平成20年6月30日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	244,817
減価償却費	151,163
賞与引当金の増減額 (△は減少)	162,779
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	1,738
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△16,668
受取利息及び受取配当金	△1,588
投資有価証券売却損益 (△は益)	△9,726
支払利息	20,033
有形固定資産除却損	60
有形固定資産売却損益 (△は益)	214
売上債権の増減額 (△は増加)	△699,811
たな卸資産の増減額 (△は増加)	314
仕入債務の増減額 (△は減少)	△67,033
その他	△16,761
小計	△230,468
利息及び配当金の受取額	1,244
利息の支払額	△12,415
法人税等の支払額	△205,474
営業活動によるキャッシュ・フロー	△447,113
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△304,481
有形固定資産の売却による収入	32
投資有価証券の取得による支出	△138
投資有価証券の売却による収入	15,265
その他	△4,921
投資活動によるキャッシュ・フロー	△294,243
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額 (△は減少)	859,602
長期借入れによる収入	166,000
長期借入金の返済による支出	△190,197
社債の償還による支出	△10,000
自己株式の取得による支出	△22
配当金の支払額	△54,056
財務活動によるキャッシュ・フロー	771,325
現金及び現金同等物に係る換算差額	△22,747
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	7,221
現金及び現金同等物の期首残高	658,366
現金及び現金同等物の四半期末残高	665,587

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

a. 事業の種類別セグメント情報

当第1四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年6月30日）

	ネットシェイ プ (千円)	アッセンブ リ (千円)	フィルタ (千円)	計 (千円)	消去又は全 社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	1,994,415	830,032	324,987	3,149,435	—	3,149,435
(2) セグメント間の内部売上高	—	—	—	—	—	—
計	1,994,415	830,032	324,987	3,149,435	—	3,149,435
営業利益	181,956	34,092	675	216,724	—	216,724

(注) 1. 事業区分の方法の変更

事業区分の方法については、従来、事業の種類・性質の類似性等の観点に基づき「金型事業」、「精密鍛造品・アッセンブリ事業」、「フィルタ事業」の3区分としておりましたが、当第1四半期連結会計期間より、組織再編による事業部門の変更にあわせ、「金型事業」と「精密鍛造品・アッセンブリ事業」に含まれている精密鍛造品部門を包括し「ネットシェイプ事業」とし、全セグメントに占める割合が高くなった「アッセンブリ事業」を分離する事業区分に変更することといたしました。

この結果、従来「精密鍛造品・アッセンブリ事業」に含まれていた精密鍛造品部門の売上高372,770千円、営業費用313,389千円は、従来「金型事業」に包括され「ネットシェイプ事業」のそれぞれの金額に加えて表示されています。

2. 会計処理の方法の変更

当第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号 平成18年7月5日）を適用しております。この変更に伴い、従来方法によった場合に比べ、営業利益が、ネットシェイプ事業で31,858千円、フィルタ事業で4,481千円それぞれ減少しております。

b. 所在地別セグメント情報

当第1四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年6月30日）

全セグメントの売上高の合計に占める「本邦」の割合が90%を超えているため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

c. 海外売上高

当第1四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年6月30日）

	北米	ヨーロッパ	アジア	計
I 海外売上高 (千円)	122,136	19,531	233,837	375,505
II 連結売上高 (千円)	—	—	—	3,149,435
III 連結売上高に占める海外売上高の割合 (%)	3.9	0.6	7.4	11.9

(注) 1. 国または地域の区分は、地理的近接度によっております。

2. 各区分に属する主な国または地域

(1) 北米……………アメリカ合衆国

(2) ヨーロッパ……ポルトガル、スイス

(3) アジア……………台湾、中国、韓国、インド、シンガポール、タイ

3. 海外売上高は、当社及び連結子会社の日本以外の国、又は地域における売上高であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(7) 企業結合等

該当事項はありません。

6. その他の情報

受注及び販売の状況（連結）

(1) 販売実績

事業別	第1四半期			当期累計	
	金額（千円）	前年同期比（%）	前四半期比（%）	金額（千円）	
				計画	実績
ネットシェイプ	1,994,415	—	—	1,940,000	1,994,415
アッセンブリ	830,032	—	—	790,000	830,032
フィルタ	324,987	103.0	116.3	360,000	324,987
合計	3,149,435	102.8	95.3	3,090,000	3,149,435

(注) 1. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2. 当第1四半期連結会計期間より事業区分の方法を変更したため、ネットシェイプ事業及びアッセンブリ事業の前年同期比及び前四半期比は表示しておりません。なお、事業区分の方法の変更は、セグメント情報に記載しております。

(2) 受注状況

事業別	第1四半期			当期累計	
	金額（千円）	前年同期比（%）	前四半期比（%）	金額（千円）	
				計画	実績
ネットシェイプ	1,844,592	—	—	1,940,000	1,844,592
アッセンブリ	847,732	—	—	790,000	847,732
フィルタ	385,253	116.2	119.0	360,000	385,253
合計	3,077,578	96.6	99.5	3,090,000	3,077,578

(注) 1. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2. 当第1四半期連結会計期間より事業区分の方法を変更したため、ネットシェイプ事業及びアッセンブリ事業の前年同期比及び前四半期比は表示しておりません。なお、事業区分の方法の変更は、セグメント情報に記載しております。

3. ネットシェイプ、アッセンブリの受注状況には、内示受注高を含んでおります。

(3) 受注残高

事業別	第1四半期		
	金額（千円）	前年同期比（%）	前四半期比（%）
ネットシェイプ	1,379,600	—	—
アッセンブリ	878,800	—	—
フィルタ	292,447	90.1	126.0
合計	2,550,848	107.6	97.3

(注) 1. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2. 当第1四半期連結会計期間より事業区分の方法を変更したため、ネットシェイプ事業及びアッセンブリ事業の前年同期比及び前四半期比は表示しておりません。なお、事業区分の方法の変更は、セグメント情報に記載しております。

3. ネットシェイプ、アッセンブリの受注残高には、内示受注高を含んでおります。

「参考資料」

前四半期に係る財務諸表等

(1) (要約) 四半期連結損益計算書

科目	前年同四半期 (平成20年3月期 第1四半期)
	金額(千円)
I 売上高	3,063,864
II 売上原価	2,339,273
売上総利益	724,591
III 販売費及び一般管理費	457,717
営業利益	266,873
IV 営業外収益	18,300
V 営業外費用	35,881
経常利益	249,292
VI 特別利益	1,510
VII 特別損失	2,684
税金等調整前四半期純利益	248,118
法人税、住民税及び事業税	89,300
法人税等調整額	34,829
四半期純利益	123,988

(2) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

記載を省略しております。

(3) セグメント情報

a. 事業の種類別セグメント情報

記載を省略しております。

b. 所在地別セグメント情報

記載を省略しております。

c. 海外売上高

記載を省略しております。